

# SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和2年 10月 2日

事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿		
適切な判断力を持ち、個性を確立すると共に、他者と協働し主体的に社会の持続可能な発展に 貢献する人を育てる。		
事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合学科の特性を活かした多様な学習ニーズに対応した基礎学力向上と主体的学習態度の育成</li> <li>2. 「キャリア探究 with SDGs支援プログラム」を軸とした自他共に納得のいく適切な進路の実現</li> <li>3. 共生・共育活動を通じた人権尊重意識の養成と、多様性を認め合える豊かな人間性の育成</li> <li>4. 地域と連携する開かれた学校づくりと ESD for 2030(SDGs) を意識した地域社会発展への寄与</li> </ol>		
各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組目標
	「主体的・対話的で深い学び」や「習得・活用・探究」のサイクルを実現する授業改善	協働学習や反転学習などの学習理論に基づいた授業やICT機器の活用を進め、年2回の授業研究会実施
	併置する特別支援学校との協働活動、外部講師によるジェンダー意識を高める特別授業	特別支援学校との協働を年20回以上実施、性をテーマとした外部講師による特別授業を実施
	「キャリア探究 with SDGs支援プログラム」に基づいた自他共に納得のいく科目選択・進路選択指導	校務分掌・教科横断、年次縦貫的な指導体制を確立し、キャリア学習への生徒満足度70%以上を実現
	「静岡研究」や学校外部の諸機関との協働を通じた地域理解の促進と愛民愛郷心の涵養	防災減災をテーマに特別授業を実施して、地域防災訓練への生徒参加率65%以上を達成
	エシカル消費やクール・チョイスなどの普及啓発活動や、フェアトレード商品の販路開拓	エシカル消費やアップサイクル等をテーマとした外部講師特別授業やプロジェクト型授業を実施
	学校間連携、行政・企業・NPOとの協働による課題解決活動の実践と、成果や課題の共有	多様な協働を実践し、年度末(2月)に成果発表会を公開実施

(記載上の注意)

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

事業所・団体名称	静岡県立駿河総合高等学校 (本社が届け出る場合はその事業所の数 )	
業 種	1 1. 教育、学習支援業	
代表者 職・氏名	職 名	学校長
	氏 名	野本 人丸
所在地	〒 422-8032 静岡県駿河区有東 3 - 4 - 1 7	
U R L	<a href="http://www.edu.pref.shiyouka.ip/surugasogo-h/home.nsf">http://www.edu.pref.shiyouka.ip/surugasogo-h/home.nsf</a>	
従業員（構成員）数	男性	女性
	50 人	47 人
	計 97 人	